取組、ありがとうございました！記入したら、早めに提出しましょう！

**提出しめきり：令和8年9月15日（火）必着**




**提出方法**

＜個人でお申込みの場合＞
環境レター（この冊子）の記入が終わりましたら、提出先へお送りください。

＜学校でお申込みの場合＞
ご担当の先生にて、環境レター（この冊子）を取りまとめていただき、提出先へお送りください。（着払いでの送付が可能です。）

※提出しめきり：令和８年９月 15 日（火）必着　※例年より早くなっています！

**提出先**

〒891-0132　鹿児島市七ツ島１丁目１番地５
一般財団法人鹿児島県環境技術協会　鹿児島県地球温暖化防止活動推進センター
かごしまこども環境大臣事務局　宛

環境レターを提出した方の中から、「優秀賞」、「奨励賞」、「学校賞」を選びます。
優秀賞に選ばれた方は、鹿児島県知事が、「かごしまこども環境大臣」に任命し、県主催の環境イベントなどへの参加を通して地域や学校の環境保全のリーダーとして活動していただきます。

かごしま こども環境大臣 Minister of the Environment Kagoshima Children

- 表彰者及び表彰式の様子等はホームページなどで紹介します。
- 「優秀賞」を受賞された方は、受賞後２年間は「優秀賞」の再受賞はありません。
- かごしまこども環境大臣の詳細については、県のウェブページをご覧ください。⇒

※ご提出いただいた環境レターの返却は行いません。必要な方はコピー等をお取りください。
※本事業における個人情報の取り扱いについては、個人情報の保護に関する法令を遵守し、収集した個人情報は、本事業の目的のみに使用し、本事業の業務委託先以外に第三者に開示・提供することはありません。

**お問合せ先**

かごしまこども環境大臣事務局
一般財団法人鹿児島県環境技術協会　鹿児島県地球温暖化防止活動推進センター
〒891-0132　鹿児島市七ツ島１丁目１番地５
TEL：099-284-6013　　FAX：099-284-6257
E メール：CO2@kagoshima-env.or.jp　　【8：30－17：00　土日祝休】

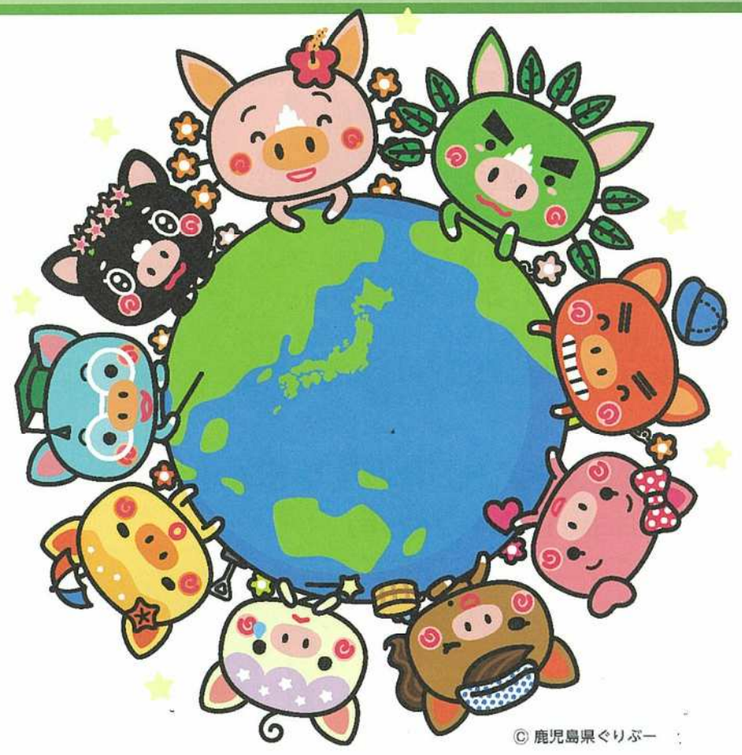
主催　鹿児島県環境林務部環境林務課地球温暖化対策室
発行　一般財団法人鹿児島県環境技術協会　鹿児島県地球温暖化防止活動推進センター
鹿児島県地球温暖化防止活動推進センターは、地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき、本県の地球温暖化対策にかかる普及啓発の拠点として設置され、県民や事業者等に対する地球温暖化防止活動の指導・助言などを行っています。

かんきょう　1524　令和8年度版

# 環境レター

## グリーン日記・手紙

地球温暖化対策のために、省エネルギー・省資源に取り組んで、手紙を書きましょう！




**＜取組期間＞　7月 18 日(土)～8月 18 日(火)**

（学校名）南種子町立南種子　小学校／~~中学校~~

2 年 1 組　ふりがな　名前　黒田 創

鹿児島県

## ■手紙■　手紙を書こう！

①題　名　手紙の題名を書いてください。

②内　容　みなさんが日頃から自然や環境を大切にするために行っていることや考え、グリーン日記をつけてみての感想などを、未来の自分や世界の人、県知事など自由に選んで手紙の形で書いてください。

③用　紙　手紙の用紙は7～8ページを使ってください。1枚以上、2枚以内。

手紙の題名　ごみを作ったのは、海ではなく人

ぼくは今年の4月、宇宙留学で種子島に来ました。種子島と聞いて思いうかべたのは、ロケットや宇宙センターでした。海や環境のことは、あまり深く考えていませんでした。でも住んでみると、家から5分くらいの所に種の岩屋という海岸がありました。ぼくは母と一緒に、4月からそこでごみ拾いを始めました。4月6日に11個拾ったのが最初です。それから8月31日までに48日、合計5137個の漂着ごみを拾いました。最初にごみを見た時、正直、すごくおどろいたわけではありません。海辺には、ほとんど必ずごみがあると思っていたからです。でも、きれいな場所にごみがあることに慣れてしまっているのは、本当によくないことだと思いました。夏休みの自由研究では、30分間で拾った307個のごみを種類ごとに分けました。その結果、小さいプラスチックが約75%を占めていました。「ごみは海が作ったものではなく、人間が作った物です。」便利だから、安いからと使っても、その後まで考えないと自然の中に残ってしまう物だと思いました。大きなプラスチックも、海を流れる間にこわれて小さくなります。小さくなると拾いにくく、魚や鳥がまちがえて食べてしまうかもしれません。だから、小さくなる前に拾うことも大事です。環境を守ることは、特別なことを1回だけすることではなく、すぐにできることを続けることだと思います。使いすぎないこと、すぐに捨てないこと、落ちているごみに気づくこと。そして、気づいたら少しでも行動することです。



未来の地球を生きる人たちへ、

そのころの海は、今よりきれいですか。自然の中にごみがあることに、慣れてはっていませんか。ぼくは、種の岩屋のきれいな景色を見るたびに、このまま残ってほしいと思います。ぼくは、5137個で終わりにするつもりはありません。種子島で過ごす1年間で、10000個以上を目標に拾い続けたいです。ただ拾うだけでなく、どうしたらごみを減らせるのかも考え続けたいです。

宇宙を見に来たぼくが、今、地球のごみを拾っています。未来の地球が、今より少しでもきれいでありますように。